

## 本港地区岸壁(-10m)改良事業

本港地区岸壁(-10m)は、1972年(昭和47年)に供用し経過年数が経っており、現状でエプロン部におけるひび割れ等が生じるなど老朽化しており、このまま老朽化が進行すると荷役作業の危険性や岸壁の利用に支障をきたすこととなります。

このため、老朽化対策を実施するとともに耐震強化岸壁としての機能を持つための改良工事について2022年度(令和5年度)の現地着手を目指しています。



耐震強化岸壁とは、大規模な地震が発生した際に、発災直後から緊急救援物資の輸送や、経済活動の確保を目的とした、通常岸壁よりも耐震性を強化した係留施設のこと。